

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	日中国交正常化40周年記念青少年招請事業		<b>担当部局</b>	観光庁		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H24/H24		<b>担当課室</b>	国際交流推進課		課長 亀山 秀一		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	20 観光立国の推進				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	観光立国推進基本法第17条		<b>関係する計画、通知等</b>	観光立国推進基本計画 新成長戦略(基本方針)				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中国・温家宝首相訪日(平成23年5月)を受け実現した被災中学生の海南島への招請事業に対し、日本側の感謝の意を示すとともに、日中関係の次代を担う青少年間の国際相互理解を増進し、中長期的な日中間双方向交流の拡大につなげる。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	「日中国交正常化40周年」を記念して、中国より青少年200名を日本へ招請し、歓迎・交流イベントを実施する。							
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算				100		
		補正予算						
		繰越し等						
	計					100		
	執行額							
執行率(%)								
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (22年度)	
	訪日外国人旅行者数		成果実績	万人	835	679	861	1,000
	本目標を設定している観光立国推進基本計画は現在見直しの作業中であり、新たな目標が決まり次第更新する。		達成度	%	83.5%	67.9%	86.1%	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
			活動実績 (当初見込み)	件			( ) ( )	
<b>単位当たりコスト</b>			算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費		1					
	外国人旅行者訪日促進対策庁費		99					
	計		100					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
点検結果		当該事業は、本年5月、中国・温家宝首相訪日を受け実現した被災中学生の海南島への招請事業に対する日本側返礼の意味合いがあり、民間企業による実施は困難であるとともに、中国政府の事業に対応する事業として日本の特定地域に限られるものではないことから、日本全体を対象として施策を実施できる国が関与するのが適切である。	
予算監視・効率化チームの所見			
	-	事業所管部局による点検がおおむね適切に行われており、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	-		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
	-		